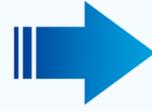


改修前

改修後



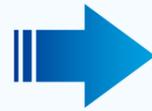
防災面の強化



2019年2月現在  
整備率 80%



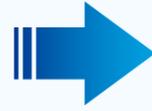
交通の円滑化



2017年11月  
完成!



交通安全の向上



2019年2月現在  
整備率 51%



# 国道134号擁壁改修事業

～ 防災面の強化、交通の円滑化

交通安全の向上に取り組んでいます。～



## 事業概要

工事延長	1,400m
工事箇所	鎌倉市七里ガ浜一丁目～腰越二丁目
工事着手年度	2012年度(平成24年度)
主要工種	擁壁工(鋼管杭・鋼管矢板) 場所打擁壁工(化粧コンクリート) 交差点改良工 歩道整備工
全体事業費	約60億円
現況交通量	16,054台 / 12時間 (2015年[平成27年]道路交通センサス)

## 位置図



擁壁改修



交差点改良



歩道整備

# 事業の目的

## ●防災面の強化【擁壁改修】

2009年(平成21年)10月に発生した台風18号による被災で、老朽化した擁壁が崩落し、道路が陥没するなど甚大な被害が発生しました。  
 今後、このような災害を防止し、県民の安全を守るとともに、災害時の緊急輸送路としての機能を強化します。



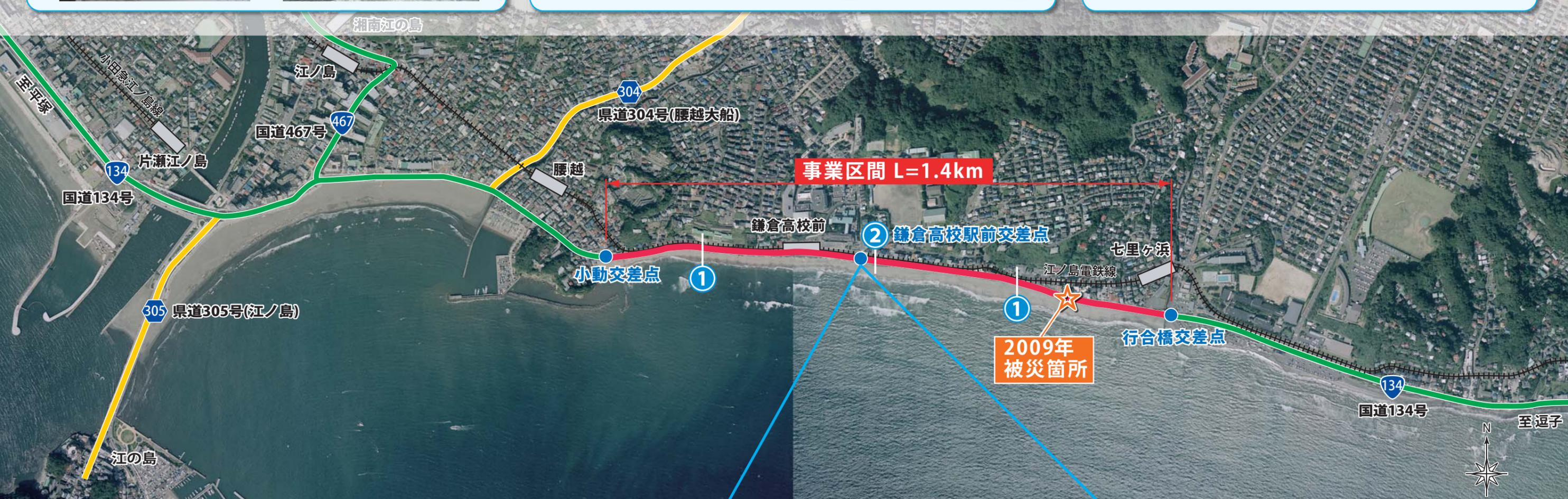
## ●交通の円滑化【交差点改良】

鎌倉高校前交差点では、右折車線がないことから慢性的な渋滞が発生していました。国道134号は神奈川県を東西に横断する主要な幹線道路であり、地域経済を支える重要な路線です。  
 今回、渋滞が激しい返子方面の車線に右折車線を設置したことにより、渋滞が改善するとともに、この渋滞が起因で発生していた交通事故の低減につながっています。

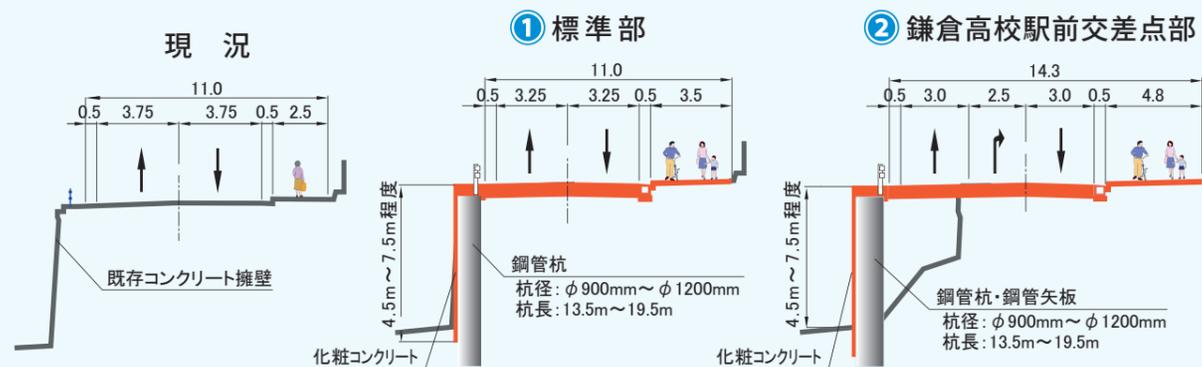


## ●交通安全の向上【歩道整備】

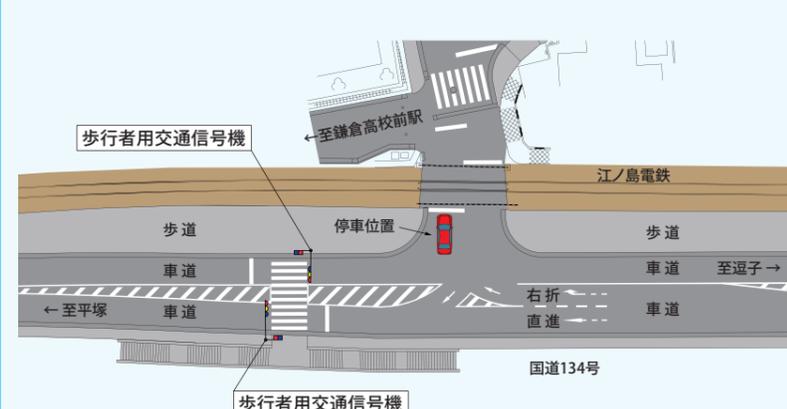
現在の歩道は2メートル未満の箇所があり、歩行者のすれ違いの際には車道側にはみ出すなど、危険な状況です。  
 そこで、歩道幅員を3.5メートル以上に拡幅し、安全で快適な歩行空間を創出します。



## 標準断面図 (単位:m)



## 交差点改良平面図



## 施工方法 (鋼管杭回転圧入工法)

鋼管杭回転圧入工法は、先端ビット付きの鋼管杭を低振動・低騒音で回転切削圧入するもので、周辺環境にやさしい工法です。  
 国道134号の七里ヶ浜付近は、交通量が多く渋滞が発生している箇所です。  
 この工法は、施工機械が鋼管杭の上で作業を行うことができるため、交通規制を行う必要がなく、また、既存の擁壁に打ち込むことができるため、海岸への影響を最小限にすることができます。  
 なお、この鋼管杭擁壁は、現在のコンクリートやブロック積の擁壁と異なり、砂浜から深さ約10m程度圧入しているため、耐震性に優れ、道路の安全性を確保することができます。

